年間授業計画　新様式

高等学校 令和４年度（１学年用） 教科　　芸術　　科目　美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：2　　単位　2

対象学年組：第　１学年　１　組　　１学年　２組

教科担当者：（1　組：宮西まど香　（　２組　宮西まど香　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）

使用教科書：（ 日本文教出版社　高校美術　　）

教科　芸術

【 知　識　及　び　技　能 】　芸術に関するそれぞれの特質を理解し意図に基づいた表現をするための技能の習得

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現の工夫や芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み感性を高め心豊かな生活や社会を創造していく豊かな情操を培う

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
芸術に関するそれぞれの特質を理解し意図に基づいた表現をするための技能の習得	創造的な表現の工夫や芸術の良さ美しさを味わう	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み感性を高め心豊かな生活や社会を創造していく豊かな情操を培う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	寄木制作 【知識及び技能】 ・日本の伝統工芸品を知り木の持つ可塑性と可能性を拡げる	【指導事項】 ・木の持つ性質 ・安全かつ正しい道具の扱い方 ・実用性のあるデザインの工夫 ・独創的な立体物の形成 ・木の特徴を生かした加工の仕方	○	○	○	○	・出席状況 ・授業態度 ・提出物 ・木の特性の理解と実践 ・作品の独創性 ・作品の完成度等　　総合的な評価	○	○	○	4
	【思考力、判断力、表現力等】 ・木の種類を知り曲線美を追求しオリジナリティー溢れる表現の追求をする	・物の組み立て方と物理的な計画性 ・工具の種類	○	○			・出席状況 ・授業態度 ・提出物 ・木の特性の理解と実践 ・作品の独創性 ・作品の完成度等　　総合的な評価	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 ・完成させるための計画性や工程工夫・粘り強さ等を養う ・日本の伝統工芸を心豊かに愛でる情操と心を育てる。	【教材】 ・教科書 ・タブレット ・寄木木材 ・ワークシート ・木工用ボンド ・紙やすり ・棒やすり	○	○			・出席状況 ・授業態度 ・提出物 ・木の特性の理解と実践 ・作品の独創性 ・作品の完成度等　　総合的な評価	○	○	○	10
		・電動糸鋸 ・新聞紙 ・Cクランプ ・木工バイス ・刷毛 ・木工用ニス	○	○		○	・出席状況 ・授業態度 ・提出物 ・木の特性の理解と実践 ・作品の独創性 ・作品の完成度等　　総合的な評価	○	○	○	2
2学期	油彩画制作 【知識及び技能】 ・日本と世界の油彩画の歴史と多様な作品を知り技法を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・油彩画の材料と使用方法についての習得	【指導事項】 ・水彩と油彩の違いについて ・油彩の特徴 ・道具の使用方法と片付け方法 ・油彩の技法の可能性 ・油彩の歴史	○		○	○	・出席状況 ・授業態度 ・提出物 ・点描画の特性の理解と実践 ・作品の独創性 ・作品の経過と完成度等　　総合的な評価	○	○	○	18
	・様々な技法の種類と扱い方の習得による独創性の確立 【学びに向かう力、人間性等】 ・画面上での自己欲求と自己追求	【教材】 ・教科書 ・タブレット ・油絵具セット ・キャンバス ・イーゼル ・新聞紙 ・モチーフ	○			○	・出席状況 ・授業態度 ・提出物 ・点描画の特性の理解と実践 ・作品の独創性 ・作品の経過と完成度等　　総合的な評価	○	○	○	10
3学期	点描 【知識及び技能】 ・明度の違いで立体が表現できる事を知り、実践で技能を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 ・点の集合で明度が変化する事を利用した素材の厳選	【指導事項】 ・光と影について ・明暗と濃淡の表現方法について ・構図の工夫 ・ペンの種類での適材適所の描き分け	○	○	○	○	・出席状況 ・授業態度 ・提出物 ・明暗・濃淡表現の特性の理解と実践 ・作品の独創性 ・作品の完成度等　　総合的な評価	○	○	○	14
	【学びに向かう力、人間性等】 ・根気よく諦めずに完成させ達成感を味わう ・計画性を持ち継続する力を養う	【教材】 ・教科書 ・タブレット ・画用紙 ・４B鉛筆 ・ボールペン(細・中・太) ・マグネット	○	○		○	・出席状況 ・授業態度 ・提出物 ・明暗・濃淡表現の特性の理解と実践 ・作品の独創性 ・作品の完成度等　　総合的な評価	○	○	○	4 合計 70